



3月21日・この春で卒部する仲間と

■4月の予定表をお送りします。

3月22日(火)から蔓延防止措置が解除になりました。4月からは、三段池のナイター照明が大幅に増設されましたので、平日の選手ナイター練習は全て三段池で実施します。コロナ感染にはまだまだ注意しながら、新年度はしっかり練習してまいりましょう!!



■新年度は中3が高校部に上がりますので、基本的に各チームは一つ繰り上がりです。トップチームは中学生が中心になります。また低学年からも選手コースに上がってもらいます。

■ホームページの変更

サーバーの移転に伴い、ホームページを変更する必要が出てきました。せっかく作ってもらったHPでしたが、今後は新たに、自作のワードプレスでのページとなります。素人ページでお見苦しいのですが、予定表やブログは更新できますので、また何より暗号化されて安全なページになりましたので、よろしくお願いいたします。

・新しいホームページ <https://fjtcs.jp/>

■体調管理をしっかりと!



コロナはまだ続きます。また季節の変わり目なので、免疫力を高めるため、十分な睡眠と、しっかりとした食事を心がけましょう!

■全国小学生大会

テニスの豆知識 67

全日本柔道連盟(全柔連)が、全国小学生大会を廃止するそうです。そのニュースに反応した陸上の為末大氏のコメントに、なるほどと感じました。全柔連の発表だけでは、「小学生段階から勝利至上主義に陥っている。」ことへの反省という感じですが、為末氏は「低年齢における競技最適化への警鐘。」ととらえています。つまり、成人にとっての競技における勝ち方と子供にとっての競技における勝ち方(勝ちやすさ)は異なるということです。確かに小学校低学年の子供にとって、テニスコートは果てしなく広いと思います。あの面積を一人でカバーするなんて無理な話で…。ネット前に落ちる球や、頭上を越えて弾むボールは、物理的に返せません。そこで、ジュニアならではの「勝ち方」があるわけですが、その最適化はその年齢、その発育段階での競技最適化であり、大人になったら、もっと強い球や早いボールも必要になります。もちろんドロップショットやトップスピンロブも低年齢から練習しておく必要はありますが、「強いボールをしっかり打つ。」という王道は外せません。全国大会がなくなれば「全小府県予選の決勝でのロブ合戦はなくなる。」と誰かが言っていたが、しかしそれはそれで、「どうしても勝ちたい。」という子供の強い気持ちから生じるロブ合戦であり、その戦術を自分で選んで、勝ちきったとしたら、そこはやっぱりほめてあげたいと思うのです。私としては、モチベーションの素という意味で、全国大会はあってほしいと思います。

■今後の試合やイベント

・全小予選 4/1 ~

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ (京都共栄学園内)

620-0933 京都府福知山市篠尾 62-5 Tel.0773-22-6241 <https://fjtcs.jp/>

代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail: info@kyoei.ed.jp